

令和2年度 府立加悦谷高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成</p> <p>2 伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成</p> <p>3 豊かで幸せな人生を送ることができるよう主体的に学び続ける人材の育成</p>	<p>【成果】</p> <p>1 丁寧な面談ときめ細かな指導により、3年生の就職希望者は早期に100%内定した。進学希望者には徹底した進路検討会により、良好な入試結果に繋がった。また、学習合宿、進学講習を充実させ、学習習慣の確立に繋がった。</p> <p>2 陸上競技部、ウェイトリフティング部、書道部の全国大会での活躍など、昨年度以上に活気を帯びた。また、この成果が他の部活動にも好影響を与えた。</p> <p>3 京都フロンティア校の取組、文化歴史推進校の取組、オリンピックパラリンピック教育、地域開放型スポーツクラブジラソーレの取組、地域イベントへの出演、出前授業、小中学校への学習支援、福祉施設ボランティアなど、地域貢献活動をおして生徒が人間的に大きく成長した。また、これらの取組が地域・保護者から高く評価された。</p> <p>4 学校評価アンケートでは「本校に入学して良かった」と回答した生徒が80%おり「本校に子どもを入学させて良かった」と回答した保護者が87%と本校の教育に高い満足度がある。また、87%の生徒が「希望進路達成のために十分な取組を行っている」と回答しており、多くの生徒が丁寧な進路指導をしている学校であると認識している。</p> <p>5 学舎制に伴う連携会議を充実させ学舎制の準備を着実に進めた。また、新たに配置された高校魅力化コーディネーターを活用し与謝野町との連携を深めた。</p> <p>【課題】</p> <p>1 学力向上対策の強化</p> <p>2 探究活動をおした問題解決能力の伸長</p> <p>3 規範意識の醸成</p> <p>4 部活動加入率の増加</p> <p>5 地域貢献の取組による地域理解の深化</p> <p>6 広報のさらなる強化</p> <p>7 学舎制の充実と魅力ある学校づくり</p>	<p>1 学力向上 一人一人にきめ細かな指導を展開し、基礎学力及び発展的な学力を身につけさせるとともに、探究的な学習をおして、主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p> <p>2 学校行事・部活動の充実 メリハリのある教育を展開し、平日の放課後を有効に活用させる。生徒会活動や部活動など自主活動の一層の充実を図る。</p> <p>3 ボランティア・地域貢献 ボランティア活動を積極的に行うとともに、「出前授業」「きもの着付け教室」など小・中学校、地域社会、PTAと連携した取組を充実させ、地域社会に貢献し信頼される学校を目指す。</p> <p>4 広報の充実・入学希望者の増加 本校の取組をHP、ニューズレター、学校公開など、あらゆる機会を活用して発信し、入学希望者の増加につなげる。</p> <p>5 魅力的な教育内容の実践 宮津天橋高校学舎制のスタートにより、遠隔教育システムの導入や部活動の効果的な運用とともに、入学した生徒が広い視野を持ちながら大きく成長でき、学校と地域社会がともに発展する魅力的な教育活動を行う。</p>

評価領域	項目（重点目標）	具体的方策	評価			成果と課題
組織・運営	学校の特色化	地域の活性化に貢献する事業を展開し、地域理解を深めるとともに地域社会とともに成長する生徒を育てる。また、加悦高魅力化コーディネーターを活用しながら地域との連携を一層図り、丹後地域から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により多くの事業が中止になり、地域貢献できる機会が激減した。地域からの要望も高いので、同様の環境下でも実施可能な方法を模索したい。 ・高校魅力化コーディネーターが配置されて2年目を迎える。昨年度以上に活躍し、教職員及び生徒から大きな信頼を得ている。広報、進路対策講座、与謝野町との連携、総合的な探究の時間のサポートなど様々な面で精力的に活動している。 ・課題であった「学習の伸び」「進路指導の充実」の成果が実感できるようになった。今後も担当者間でお互いに理解しながら放課活動時間における補習と部活動等を全校体制で共に発展させていかなければならない。 ・学舎制のスタートに併せ、教職員情報共有を図った。行事など、さらに宮津学舎との連携を強化するとともに加悦谷学舎の強みや魅力を地域に発信していきたい。
		授業規律を確保するとともに、学習合宿、進学講習、就職講座を充実させ、高いレベルでの学力保障及び部活動の充実を推進する。	B			
		広報誌（ニュースレター）・公式ホームページ・学校説明会などを通じて本校の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。	B			
	指導体制の強化	保護者や生徒との面談を充実させ、一人一人を大切に丁寧な指導体制を構築する。また、安心・安全な学校を維持するため、いじめ等の問題事象の早期発見、早期対応に努める。	B	B		
	学舎制を踏まえた学校体制の構築	学舎制に向けた教職員の共通認識の醸成を図るとともに参画意識を高揚させることで魅力ある学舎制の構築に繋げる。また、加悦谷高校（学舎）の魅力や強みを検証するとともに、宮津学舎と連携しながら魅力ある教育活動を実現する。	B	B		
学習指導 ・ 進路指導	学力向上	学校評価アンケートや授業アンケート等を分析し、授業改善を積極的に推進する。また、ICT教育、遠隔教育の研究を一層進めるとともに教育内容を充実させ、生徒たちに理解が深まることの喜びを実感させる。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートによると、生徒、保護者ともにほぼすべての項目について肯定的な評価が増加した。特に進路指導についての生徒からの高評価が増加した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休業中に学びの保障としてICTを活用した授業配信講座が11講座あった。授業者と生徒が双方向にやりとりできる形態で実施し、大きな効果を得た。 ・生徒個人ごとの進路検討会を学年と進路指導部が連携して実施し、進路実績に繋がった。
		週末課題・ノート点検等を充実させることにより学習に対するモチベーションを向上させ、家庭学習の習慣化を進める。	C			
	希望進路の実現	生徒一人一人に対する進路検討会や個別面談、放課後の補講、長期休業中の学習合宿等を充実させ、丁寧な指導を実施する。	B	B		
生徒指導 ・ 部活動	規範意識の向上	制服の着こなし、頭髪や身だしなみをはじめマナーの重要性を理解させ、問題行動の未然防止に努める。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で多くの部活動の全国大会等が中止となったが、代替試合などで、全国リモート大会や近畿大会へ複数の出場を果たした。 ・生徒対象の学校評価アンケートでは「基本的な生活習慣やマナー指導の徹底」の項目で過去4年間で最も高い評価である。
	自主活動の活性化	全国大会や近畿大会など上位の大会に出場する選手を育成し、学校全体で応援するような温かい学校にする。また、部活動加入率の増加を目指す。	B	B		
環境整備 ・ 相談	教育環境の整備	校内清掃や美化点検を徹底することで学習環境としてふさわしい空間を維持する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の一斉清掃や有志による校内清掃が充実しており良好な学校生活環境が維持できている。学校公開等で「綺麗な学校である」との感想が目立つ。 ・外部関係機関との連携を密に保つことができた。一方、スクールカウンセラーを十分活用できているとはいえない。今後の課題である。
	教育相談	外部関係機関や保護者との連携を図りながら、支援を要する生徒に対し、迅速できめ細かい手立てを行う。	C	C		

<p>学校関係者評価委員会による評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者・生徒による学校評価アンケートの結果から生徒たちが安心して学校生活を送っている様子がうかがえる。学校はかなり力を入れて指導されていると感じる。 ・ コロナウイルス感染症対策による活動制限が多い中でも生徒たちは、学校生活に楽しみを感じている。また、加悦谷高校に入学して良かったと感じている生徒及び入学させて良かったと感じている保護者が非常に多いことが学校が信頼されている証拠であり、喜ばしいことである。 ・ 頭髪等の指導対象ラインを生徒たちに考えさせている学校があると聞いた。このような取組は生徒が主体的に考える機会となり規範意識の向上に繋がると思われる。 ・ 一人一人の個性を尊重する時代なので生徒に対する指導は保護者の協力なしにはできない。保護者との連携を強化する必要がある。 ・ 問題行動を起こしたときや頭髪指導などは生徒に「何故いけないか」を理詰めで理解させる必要がある。学校評価アンケートの結果をみると厳しい指導であっても生徒は納得しており、指導に対してきちんとした評価をしていることがうかがえる。 ・ 学舎制があまり地域に浸透されていないと感じる。今年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から多くの活動に制限がかかり両学舎で取り組む学校行事がほとんどなかったことも一因であろう。来年度は部活動で同一チームで公式戦に出場する部活動が増えると思われるので期待したい。 ・ 学舎制となってもこれまで同様、加悦谷学舎に入学してくる生徒たちが喜びを感じ、充実感が味わえるような学校づくりをお願いしたい。
<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、アスリートスポーツコースの生徒が地元小学生へのスポーツ指導をする取組がほとんどできなかった。次年度は、リモートも含め検討したい。また、次年度は地元中学生へ指導も実現させたい。 ・ 進路指導の充実を一層図るとともに生徒の学力向上を図るために家庭学習の定着を目指した取組が必要である。学習と部活動との両立を目指す生徒が多いのが本校の特徴であり、各教科と学年及び部活動顧問の連携を密にしながら効果的な学習を継続させる方策を検討する。 ・ 高校魅力化コーディネーターを一層活用し、地域活力・地域創生・地域貢献を推進する。 ・ 小規模校の利点を生かした「一人一人の可能性を伸ばす」面談を一層充実させ、きめ細かな指導を徹底させる。